

イベント紹介

2006年3月

学校法人宮城学院共同企画展

「戦時下女学校の 学徒勤労動員」

二〇〇五年九月十七日～十月二日

アジア・太平洋戦争中、県内の女子学生の学徒勤労動員の実態を伝える企画展「戦時下女学校の学徒勤労動員」を開催しました。

この企画展は、学校法人宮城学院が五年がかりで進めた調査結果の巡回展で、県北の高等女学校の資料を中心に約百点を展示しました。期間中は多くの方が訪れ、動員先の様子を収めた写真や、つぎはぎだらけの作業



▶当時の様子を伝える展示品

服など当時の厳しさを伝える展示物を熱心に見学していました。

また、九月二四日には宮城学院女子大学教授大平聡氏による講演会が行われ、学徒勤労動員が教育に与えた影響などを分り易くお話ししていただきました。講演終了後には学徒勤労動員体験者から当時の様子についてのお話もありました。



▶展示を見学している来館者

井上ひさし講演会

二〇〇五年十二月十七日

当館名誉館長による恒例の講座が開催されました。年末の忙しい時期にもかかわらず二七〇名の井上ファンがかけつけてくれました。

今回は、三月十三日に大崎市民会館で上演された。こまつ座公演「兄おとうと」に先駆けて開催されました。講演では、兄の作造を「学問の塔にこもらず、自分の発言が現実の社会に影響しなければ意味がないと考えた理想的な学者」、一方弟の信次は、「大臣を二度も務めている



▶講演中の大平氏

絵に描いたような高級官僚」と評し、二人の立場や考え方の違いを紹介しました。

また、吉野兄弟が生きた時代と現在の社会情勢を踏まえながら、靖国神社参拝や改憲の動きなど時事問題にもふれ、吉野の精神や思想をわかりやすくユーモアを交えながらお話しいただきました。会場を訪れた方々は、大きくうなずいたり、時に笑いながら講話に聞き入っていました。



▶講演中の井上氏